



両親へ

20歳の誓いを述べた河嶋美月さんと、彼女の両親がお互いへの想いの文を手紙につづりました。

20年分の「ありがとう」

子へ



河嶋 美月さん

ずっと見守ってくれて
本当にありがとうございます

お父さん お母さんへ
20年間育ててくれてありがとう
保育園の時は毎日のように泣いていた私も無事成人の日を迎えることが出来ました。
この20年間は色々な経験をさせてくれてありがとう。ずっとスポーツ漬けでたくさんサポート、特に高校の時はほんとに朝早くから送迎もありがとう。高校の頃は毎日のように反抗して言いたくないことも言いたし、たくさん傷つけたよね。ごめんね。今まだ大変なのに、一人暮らしをさせてくれてありがとう。一人暮らしをして本当に親の有り難さが分かったし、学んだ事が沢山あるから今でも何か思い出したとき、今でもここにきて20年間何をやるにもずっと見守ってくれて本当にありがとう。もう看護学校に通って学校生活も残り1年になったよ。ここに来るまで何回も辞めたいと思って泣きながら電話した日もあったね。その時、真剣に話聞いてくれて、いつでも帰って来いよって言って、一番の味方になってくれて本当にありがとう。
色々な人に助けられて、今頑張れる。と思う。後は8ヶ月間の実習乗り越えて、国試に挑むだけ!! 看護師目指してこれからもっと頑張るわ!

最後になつたけどパパとママの子供に生まれて本当に良かった。
たくさん愛情を注いできてくれてありがとう!
パパはいつも優しく見守ってくれて、叱る時は叱ってくれてありがとう! お酒の飲みすぎには注意ね。(笑) ママは、優しく厳しく同性として色々な話を聞いてくれたり話してくれたりしてありがとう!
二人とも本当に無理は禁物だよ! 身体に気をつけてね。
自分も20歳になつたけど歳ばかりの20歳ではなくて、今まで教わったことを心において大人として、女性として、いかに歳をとるとパパとママみたいな親になって、家庭を築くのが要です。
まだまだ手のかかる娘かもしれないけど温かく見守ってくれて嬉しいですよ。
これからよろしくお願ひします。

美月より



美月 成人おめでとう。
月がきれいな夜に産声をあげてから20年。振り返ると 保育園の初めての発表会で「ママがいい〜! ママに会いたい〜!」と大きな声で泣いたことを懐かし思い出。細細で可愛色の美月を、年長さんにやっとお姉ちゃんになり、嬉しそうでした。小さい時には二人のお姉ちゃんに「お姉ちゃん、バスケでケガをしたらいいね!」一番大きなケガは忘れる事はありません。小さい時、家から「お母さんが転んだ」として「はじめの一歩!!」と叫び声が聞こえました。子さかの足首を脱臼骨折でした。この時に「人生、何事も一歩が大事だよ。」と言ったの覚えてる? 一歩進めば、留まったりして人生が変わるものだよ。そして出会いも大切にね。高校では体育コースに進み陸上部に入りましたが、顧問の先生が美月の能力を引き出してくれました。この出会いは大きな変化でした。

まさかのハンマー投げの選手として、3年間、三角から、平橋駅5時台の電車に乗る為に、早起きして、土、日は、笑顔スタジアムの練習で、親も美月をよかかんぽつと思つた。いろんな大会に出場して結果が出るに苦しい日もあった。でも美月の頑張る姿を応援出来たこと嬉しく、誇りに思っています。素敵な時間をありがとうございました。
パーマをかけた。このお返しは、間違いない美月の車に乗って、これからの人生に役に立つから、自信を持って、胸張って一歩ずつ行って下さい。そして経験するすべての事にムダなことは無いという事。そして何事も感謝の気持ちを忘れないで、体に気をつけて頑張ってください。行動あるのみ人生は、重たい。お返しは必ず返して見つけよう。

お月様のように満ち欠けして、
夜空に輝く美しい月であれ。 (父母より)

自信を持ち、
胸張って一歩ずつ



母 河嶋 ゆりさん

父 河嶋 和孝さん